

信じる 日本を、その先にある光を

日本の近代美術に大きな足跡を残した岡倉天心の生誕150年・没後100年。

本作品は、明治という時代にあって日本の美を『再発見』し、新しい美を生み出そうと苦闘する天心とその弟子である若き画家たち——横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山——の葛藤と師弟愛の物語です。



©2013映画「天心」製作委員会

「東日本大震災」に
より六角堂が流失！

撮影準備中の二〇一二年三月

十一日、東日本大震災の大津波により、天心が思索に耽った北茨城市・五浦海岸にあつた貴重な文化遺産「六角堂」も流失し、海中へと没しました。

主要なロケ地である茨城県は甚大な被害を受け、映画化も危ぶまれましたが、一日も早い復興のシンボルとするため、県内の行政、大学、企業、美術界、市民団体などで構成される映画「天心」実行委員会が立ち上がり、六角堂の再建や当時の姿を忠実に再現した日本美術院オープンセットの建設、ロケへの全面協力などの支援を受け、二〇一二年末に無事撮影が完了しました。

さらに、北茨城市出身の石井竜也さんには、映画「天心」の企画当初から全面協力いただき、主題歌をご提供いただくことになりました。

一〇〇年前に
「クールジャパン」を創った
男たちの魂の物語

明治初期、廃仏毀釈の嵐が吹き荒れ、寺が焼かれ、仏像が破壊される中、若き天心はフェノロサと共に伝統ある日本美術の保護に奔走していた。

その後、東京美術学校（現在の東京藝術大学）の校長に就任。横山大観、下村観山、菱田春草ら若き才能の育成に尽力するなど、美術界のエリートコースを歩んでいたが、西洋画派との対立により、辞任に追い込まれる。

天心は、彼を慕う大観ら弟子たちと共に新たな日本画の創造を目指し日本美術院を立ち上げるが、彼らの画法に対する国内での評判は芳しくなく、経営難へと陥ってしまう。

新天地を求め、天心は茨城県五浦海岸に六角堂を建立。

その翌年、ここに日本美術院を移転し、大観、春草、観山、木村武山らと移り住み、壮絶な創作活動に没頭して行くのであったが…。



竹中直人(岡倉天心) 中村獅童(横山大観) 平山浩行(菱田春草) 木下ほうか(下村観山)
橋本一郎(木村武山) 温水洋一(狩野芳崖) 渡辺裕之(九鬼男爵) 本田博太郎(船頭)
神楽坂恵(九鬼波津子) キタキマユ(菱田千代) 城之内正明(飛田周山)
大和田健介(岡倉覚三・若き日の天心) 石黒賢(根本記者/友情出演)



平成31年3月23日(土)上映①10:30 ②14:00 ③17:30 (各回30分前開場)

北茨城市民ふれあいセンター・多目的ホール(磯原町本町2-5-15)

[入場料] 一般・シニア・中高生500円 消費税込、全席自由(各回先着順) ※お早めに下記販売所でお買い求め下さい!!

[販売所] 市民ふれあいセンター(磯原町本町2-5-15 9:00~16:00/月曜休・祝日の場合は翌日) ☎0293-42-2644
北茨城観光案内所(JR磯原駅改札脇 10:00~16:00/月曜休・祝日の場合は翌日) ☎0293-44-3741
【月曜のみ】北茨城市商工会(磯原町本町1-3-9 9:00~17:00) ☎0293-42-2511

お問い合わせ・主催:映画『天心』製作委員会 ☎070-5021-9979

後援:北茨城市/北茨城市教育委員会/北茨城市商工会